

事業報告書

1 支援団体名	第 23 回九州「川」のワークショップ in 長崎 実行委員会								
2 事業名称	第 23 回九州「川」のワークショップ in 長崎開催事業								
3 実施日時	2024 年 11 月 30 日(土)、12 月 1 日(日)								
4 実施場所	長崎大学・中部講堂 長崎県長崎市文教町1-14								
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 九州の河川流域で活動している団体・学校・行政・企業などが一堂に会し、水環境の保全・改善、環境教育、防災・減災意識の向上等について多様な活動発表を行います。各河川が抱える課題や課題解決について情報交換や意見交換することで、川や水辺の活動に取り組む多様な世代や立場の人々が交流を深め、活動の輪が広がるとともに、次世代を担う人材の育成と流域連携、川や流域への理解を深めることを目的とします。 (事業実施効果) 今回の成果目標として、九州各地の河川活動団体の河川環境、防災、教育等の多様な活動を情報共有できる機会とすること、また、河川環境と防災・減災について九州地方整備局、地方自治体と連携し意識向上を図ることで、市民と学校・行政・企業との連携による河川環境保全に繋げていくこと、人材交流を通して、新たな流域連携や他流域との交流を促進し、次世代の川の担い手の育成、魅力的で安心・安全な川づくりが推進されることを示しました。以下にその成果を記載します。 今回、九州各地から市民、企業、大学、行政機関など多様な41団体の参加があり、長年継続してこられた団体や活動を始めたばかりの団体、小学生から 80 代まで幅広く参加いただきました。情報共有の場として開催しましたステージ発表、交流会、ポスターセッション、その他にも積極的な交流を深めていただきました。実行委員会の運営におきましても九州地方整備局をはじめ長崎河川国道事務所、長崎県河川課、長崎市土木部、環境部の皆さんに参画いただきました。この事業を通して九州全域の各河川とのかかわりを強く結ぶことができたことと確信しています。								
6 参加内訳	<table border="1"> <tr> <td>総人数</td><td>618 名</td></tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td><td>185 名</td></tr> <tr> <td>(2) 日本人参加 ((1) を除く)</td><td>433 名</td></tr> <tr> <td>(3) 外国人参加 ((1) を除く)</td><td>0 名</td></tr> </table>	総人数	618 名	(1) 主催者参加	185 名	(2) 日本人参加 ((1) を除く)	433 名	(3) 外国人参加 ((1) を除く)	0 名
総人数	618 名								
(1) 主催者参加	185 名								
(2) 日本人参加 ((1) を除く)	433 名								
(3) 外国人参加 ((1) を除く)	0 名								
7 今後の方針	九州川のワークショップとしては今後も毎年各地を持回りで開催していきたいと考えています。令和7年度は福岡県にて開催予定です。また、今回の開催を機に、ワークショップ開催時以外の交流促進を行っていききたいと思います。長崎県内の河川の活動を行う団体の交流も深まったことで、より一層各団体の事業に対する相互支援と環境づくりを行い相互成長に繋げていききたいと思います。								

オープニング

(長崎大学龍踊部、11月30日)



子どもの部ステージ発表

(伊良林小学校ホタル委員会、11月30日)



大人の部ステージ発表

(鹿児島県土木部河川課、11月30日)



ポスター発表

(宮崎大学工学部土木環境工学、12月1日)



基調講演

(講師:細谷和海氏、12月1日)



閉会式完了

(集合写真、12月1日)

